

ジャパンサーチとの連携について



この資料は、ロゴを除き、[クリエイティブ・コモンズ表示4.0国際ライセンス](https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/)の下に提供されています。

令和8年8月25日 国立国会図書館 電子情報部
電子情報企画課 連携協力係



- | | |
|----------|------------------------|
| 1 | ジャパンサーチとは |
| 2 | 連携方針と連携手続 |
| 3 | メタデータ連携の仕組みについて |
| 4 | 二次利用条件の設定について |

1 ジャパンサーチとは



JAPAN SEARCH

ジャパンサーチとは

デジタルアーカイブの検索・閲覧・活用のプラットフォーム

さまざまな分野のデジタルアーカイブと連携

我が国の多様なコンテンツの**メタデータをまとめて検索・閲覧・活用**できます。

国全体の取組

- ◇ 政府の「**知的財産推進計画**」に掲げられている**国の取組**
- ◇ 活動方針：「デジタルアーカイブ戦略2026-2030」
- ◇ 運営主体：デジタルアーカイブ推進に関する検討会（事務局：内閣府知的財産戦略推進事務局）
- ◇ システム開発運用・連携実務担当：国立国会図書館



JAPAN SEARCH

ジャパンサーチの連携状況



連携機関（つなぎ役）

70 機関

データ提供機関は**2,000**機関以上



連携データベース

319 DB



メタデータ数

3200 万件

2026年8月1日時点



JAPAN SEARCH



ジャパンスターチの機能

JAPAN SEARCH

①分野の特性を活かした検索機能

横断検索

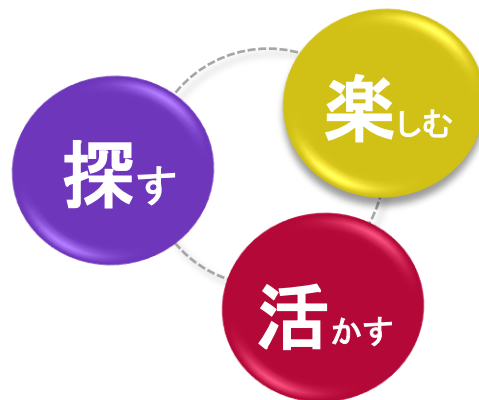
テーマ別検索

画像検索 ※類似画像の検索など



②クリックするだけで楽しめる機能 多様なコンテンツの紹介

- 様々なテーマに関する「ギャラリー」を提供
(テーマ例：富士山、猫、紅葉狩り、刀剣、和食、北斎etc.)



③利活用促進の基盤となる利活用機能

- お気に入りをマイノートに登録し、マイギャラリーで編集可能
- マイノートの共同編集ができるマイギャラリー、ワークスペース
- 任意のメンバーから成るプロジェクトで、ジャパンスターチの全機能を体験
- ジャパンスターチが集約したメタデータをAPI（外部提供インタフェース）で提供



2 連携方針と連携手続

詳細はジャパンサーチを参照

「連携をご希望の機関の方へ」 (<https://jpsearch.go.jp/cooperation>)

「連携に関するQ&A」 (<https://jpsearch.go.jp/cooperation/faq>)



ジャパンサーチの連携方針

コレクションポリシー（連携方針）

ジャパンサーチの連携方針を定めたもの
連携対象機関、デジタルアーカイブの要件、連携手続、連携機関の役割 etc.

詳細は ジャパンサーチトップページ下部
「連携をご希望の機関の方へ」から。

ジャパンサーチの概要 ヘルプ お知らせ サイトポリシー

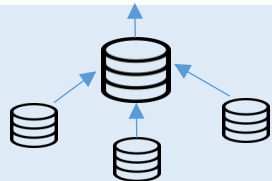
連携をご希望の機関の方へ 開発者の方へ ジャパンサーチラボ



コレクションポリシー：「つなぎ役」経由の連携

分野・地域コミュニティの「つなぎ役」経由の連携が原則

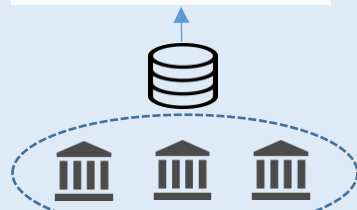
① 同分野・地域内のアーカイブ機関のデータベースをまとめるポータルを構築



(事例)

- ・ 文化遺産オンライン（文化庁）
- ・ S-Net（国立科学博物館）
- ・ NDLサーチ（国立国会図書館）
- ・ 北海道デジタルミュージアム

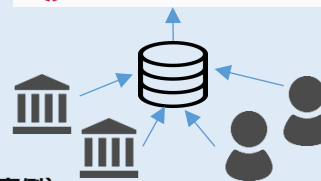
② 同じ組織内の複数機関のデータを集約したデータベースを構築



(事例)

- ・ ColBase（国立文化財機構）
- ・ nihuBridge（人間文化研究機構）
- ・ 国立美術館所蔵作品総合目録検索システム（国立美術館）

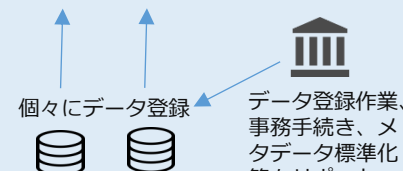
③ 同じ分野・テーマの資料を様々な団体又は個人から集約したデータベースを構築



(事例)

- ・ にいがた地域映像アーカイブデータベース（新潟大学）
- ・ ARC浮世絵ポータルデータベース
- ・ 魚類写真資料データベース（国立科学博物館、生命の星・地球博物館）

④ データベースをもたないが、つなぎ役としてアーカイブ機関との連携窓口となり、情報提供、メタデータ標準化等をサポート



(事例)

- ・ 全国美術館会議経由で、愛知県美術館、東京富士美術館等と連携

（つなぎ役不在の場合）直接連携

つなぎ役が明確ではない分野・地域は、

つなぎ役と同等の連携方針を満たす機関との直接連携を検討

- ・ 公益に資するため、特定の分野・地域において幅広いコンテンツを有すること
- ・ 唯一性・独自性の高いコンテンツ群を有すること など





ジャパンサーチとの連携方法

5つのステップ

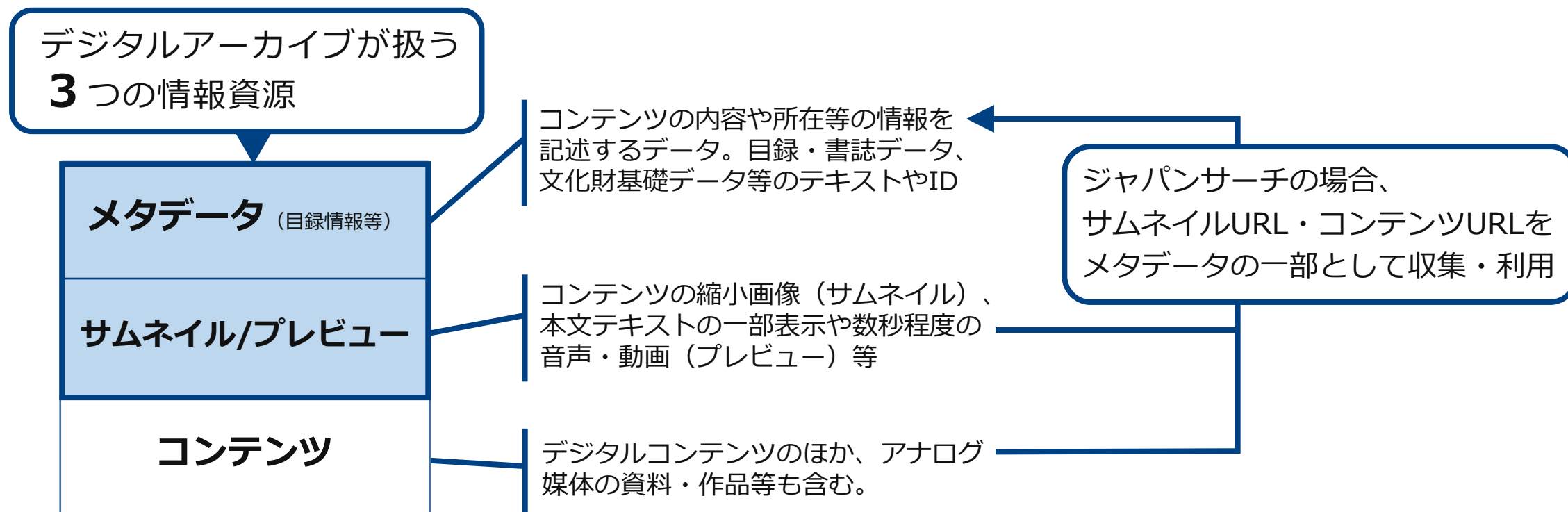
- ▶ ① ジャパンサーチへの問い合わせ
- ▶ ② デジタルアーカイブ推進に関する検討会での承認
- ▶ ③ 文書の取り交わし
- ▶ ④ 登録作業
- ▶ ⑤ 連携完了

3 メタデータ連携の仕組みについて



ジャパンサーチとの連携 メタデータ連携

メタデータと**サムネイル**をオープンに流通させることで、コンテンツの活用が促進される。



(出典) 『「デジタルアーカイブ活動」のためのガイドライン』 (デジタルアーカイブジャパン推進委員会実務者検討委員会、令和5年9月)

https://www.cas.go.jp/jp/seisakukaigi/titeki2/digitalarchive_suisiniinkai/pdf/guideline_2023.pdfを一部加工



メタデータ連携と活用までの流れ

つなぎ役・アーカイブ機関

メタデータ

連携時のメタデータフォーマット：
データ提供者が使用している
そのままの形でOK

多様なファイル形式に対応
(TSV/CSV、エクセル、JSON、XML)

データ登録

ジャパンサーチ

メタデータ

共通項目ラベル※1の付与

ジャパンサーチ利活用ス
キーマ※2に変換

(利活用のための分野共通メタ
データモデル)

データ利用

利用者・活王者

検索

(横断検索、テーマ別検索、
画像検索)

API

(SPARQLエンドポイント、
簡易Web API)

マイノート・
マイサーチ・
ギャラリー・
ワークスペース・
プロジェクト

連携方式：

- ①管理画面でファイルのアップロード
- ②ファイルをWebに掲載
(週次/月次の設定も可能)
- ③OAI-PMH (大量かつ高頻度の場合)

※1：名称/タイトル、時間、場所、所蔵機関、
URL等の分野横断で共通となりうる項目のみ

※2：分野横断して利活用可能とするジャパンサーチ
におけるメタデータの標準形式。

4 二次利用条件の設定について

ジャパンサーチにおける二次利用条件の表示方法

二次利用条件の表示例

メタデータの利用条件



メタデータの利用条件 (API取得可能)

CC0



サムネイル画像の利用条件

サムネイル画像を含んでいるデジタルコンテンツの利用条件と同じです。



デジタルコンテンツの利用条件
自由に利用可

コンテンツの利用条件

CC0

利用条件の早見表

教育



非商用



商用



詳細な利用条件の案内

資料固有の条件

利用条件はコンテンツにより異なります。詳細は [利用規約](#) 参照。



デジタルコンテンツの権利区分と「早見表」の対応関係

		教育利用	非商用利用	商用利用
ツール	CC0	○	○	○
	PDM（パブリックドメインマーク）	○	○	○
クリエイティブ Commons ライセンス	CC BY（表示）	○	○	○
	CC BY-SA（表示-継承）	○	○	○
	CC BY-ND（表示-改変禁止）	△	△	△
	CC BY-NC（表示-非営利）	○	○	×
	CC BY-NC-SA（表示-非営利-継承）	○	○	×
	CC BY-NC-ND（表示-非営利-改変禁止）	△	△	×
Rights Statements	著作権あり	×	×	×
	著作権あり－教育目的の利用可	○	△	×
	著作権なし－契約による制限あり	△	△	△
	著作権なし－他の法的制限あり	△	△	△
	著作権未評価	×	×	×
その他	著作権未決定－裁定制度利用著作物	×	×	×
	該当なし	—	—	—

○＝利用可、△＝条件付き利用可、×無断利用不可（要許諾）



どうやったらこの資料のデジタルコンテンツを使えるの？
許諾を得ずに教育目的では利用可

☒ 著作権あり-教育目的の利用可

教育



非商用



商用



資料固有の条件

権利者の許諾のもと、研究・教育を目的に、閲覧、利用できる。利用にあたっては、新潟大学
人文社会科学系附置地域映像アーカイブ研究センターの許可が必要。「[にいがた 地域映像
アーカイブ・データベース](#)」の「[ご利用方法](#)」を参照。

早見表の例

詳細：ジャパンサーチ「デジタルコンテンツの二次利用条件表示について」のページを参照
<https://jpsearch.go.jp/policy/available-rights-statements>

連携をご希望の皆様へ（お願い）

1. メタデータの整備

「名称/タイトル」「ID」のみ必須ですが、次の点にもご留意ください。

- ✓ **IDは永続的であり、システムリプレイス等の際に変更されないもの**にすること
- ✓ ジャパンサーチからとぶリンク先ページの「固定URL」
- ✓ **「サムネイル画像URL」「コンテンツURL」**
- ✓ （可能なら）名称/タイトルのローマ字（英語）

参照：「ジャパンサーチとの連携方法【簡易版】」 https://jpsearch.go.jp/static/pdf/cooperation/renkei_simple_20201124.pdf

2. 二次利用条件の設定

メタデータ、サムネイル、デジタルコンテンツの利用条件の設定及び公開についてご検討ください。

- ✓ **ジャパンサーチでは、メタデータは「原則CC0」**

※国際的流通を意識（Europeanaと同レベル）

- ・著作物性のあるもののみCC BYでも可。民間機関のメタデータなど原則に対応できない場合はデータベースごとに利用条件が分かるよう設定可能
- ・ユーザには、CC0であっても出典等の情報を明記するよう、サイトポリシーをお願いしています

- ✓ **サムネイルはCC0/CC BY相当に**
- ✓ **デジタルコンテンツのウェブ公開を増やし、可能ならCC0/CC BY相当に**
- ✓ **詳細な利用条件を説明するページがあれば、ジャパンサーチからそこへのリンクも張れます。**

各機関のご判断により、ウェブ公開有無や利用条件の設定ができますが、可能な範囲で、オープンな利活用にご協力をお願いします。

デジタルアーカイブで困ったことがあれば、

「コンテンツの二次利用条件をどう設定すればよいか分からない……」

「コンテンツをもっと活用してもらいたい……」

「デジタルアーカイブをゼロからはじめたい……」

過去のガイドライン

1. 「デジタルアーカイブの構築・共有・活用ガイドライン」（平成29年4月）
2. 「デジタルアーカイブにおける望ましい二次利用条件表示の在り方について（2019年版）」
3. 「デジタルアーカイブのための長期保存ガイドライン（2020年版）」

2023年9月公開

「デジタルアーカイブ活動」 のためのガイドライン

- ▶ 内閣府知的財産戦略推進事務局HP（PDF）
デジタルアーカイブジャパン推進委員会及び実務者検討委員会
https://www.cas.go.jp/jp/seisakukaigi/titeki2/digitalarchive_suisiniinkai/index.html
- ▶ ウェブ版（ジャパンサーチHP）は以下のURLからご覧ください。
<https://jpsearch.go.jp/guideline/>



JAPAN SEARCH

ジャパンサーチ公式YouTubeチャンネル



連携を考えている機関の方へ

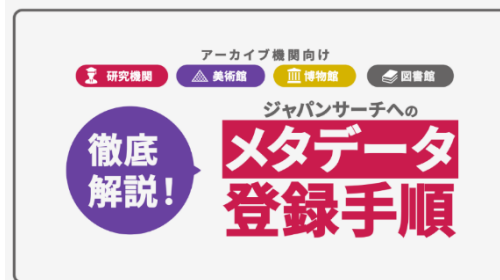
<https://www.youtube.com/playlist?list=PL4KTWzfKoHLHsB01p8N0Rek8jKhx3WOWS>

連携に関する解説動画などを用意しています。

連携方法



【アーカイブ機関向け】ジャパンサーチと連携するメリットと手順を解説！



【アーカイブ機関向け】徹底解説！
ジャパンサーチへのメタデータ登録手順

連携機関 インタビュー



【連携機関インタビュー①】
ジャパンサーチとの連携（メリット編）



【連携機関インタビュー②】
ジャパンサーチとの連携（手続フロー編）